



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 タビオ 株式会社  
 コード番号 2668 URL <http://www.tabio.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 越智 勝寛  
 (氏名) 谷川 繁

TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	12,271	6.5	566	49.3	592	44.3	319	56.4
26年2月期第3四半期	11,521	4.4	379	△0.8	410	2.5	204	22.2

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 309百万円 (34.6%) 26年2月期第3四半期 229百万円 (44.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	46.94	—
26年2月期第3四半期	30.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	8,910	5,512	61.9
26年2月期	8,141	5,407	66.4

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 5,512百万円 26年2月期 5,407百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,866	6.4	635	16.9	657	11.8	304	△0.2	44.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	6,813,880 株	26年2月期	6,813,880 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	1,826 株	26年2月期	1,779 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	6,812,078 株	26年2月期3Q	6,812,101 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年11月30日)における国内経済におきましては、政府主導による積極的な経済政策を背景に雇用情勢が改善し、一部の大企業を中心に企業収益は上向き、景気はゆるやかな回復基調に向かいつつありましたが、円安の進行や物価上昇の影響等により、消費増税後の個人消費の回復は想定以上に鈍くなっており、消費者心理の低下による景気の下押しリスクが依然として存在しております。

国内衣料品販売におきましては、景気回復への期待感から一時的に販売状況は持ち直しの傾向を示しておりますが、天候不順や消費増税に伴う家計への負担感が軽減されないことから、多くの商業施設で販売状況に精彩さを欠いております。その一方で高付加価値商品が好調に推移するなど消費の二極化傾向も見られており、多様化する消費者ニーズに柔軟に対応する提案力が求められております。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に变化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、スニーカー等の足元のカジュアル化の流れが強まったことから、コーディネート提案としてのカラーソックスを前面に打ち出すことにより、春夏物商戦におけるショート丈靴下やカバーソックス等の販売は好調に推移しました。また、秋冬物商戦におきましては、天候不順による影響はあったものの、例年に比べ秋の訪れが早まったことから秋物商品が早くから動き出し、売上高は堅調に推移しました。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、人気ファッション・ブランドの動向に変化が見られる中、最新のトレンド要素を盛り込んだ店舗イメージへの転換を図り、立地・客層に即した出店やリニューアルを進めて行くと共に、レディースのみならず、メンズやキッズ商品の売上強化に向けた複合展開の確立に尽力して参りました。また、当期は『靴下屋』誕生30周年の節目を迎えるにあたり、関連イベントを積極的に行うことにより、店頭の活性化と販売員のモチベーションアップを目指した政策にも注力して参りました。

「ショセツ関連部門」における「ショセツ事業」では、注目の集まるハイセンスな商業施設での出店立地を生かした『タビオ』ブランドの浸透を図っていくと共に、『靴下屋』との差別化を図った商品企画の刷新を行うことにより、今後の出店可能エリアの拡大に向けた取り組みに尽力して参りました。また、「紳士靴下事業」では、メンズ単独店における収益基盤を強化していくと共に、大都市における単独店の出店を推進することにより、メンズ靴下市場の開拓に向けた取り組みに尽力致しました。

海外展開におきましては、タビオ・ヨーロッパ、タビオ・フランスにおける欧州事業基盤の安定化を最優先事項として取り組むと共に、東アジアでのマーケットリサーチを積極的に行い、今後の販路拡大に向けた取り組みを継続して行って参りました。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店4店舗、直営店15店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店6店舗、直営店7店舗の退店により、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店124店舗、直営店178店舗(海外子会社の5店舗を含む)、合計302店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,271百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は566百万円(前年同期比49.3%増)、経常利益は592百万円(前年同期比44.3%増)、四半期純利益は319百万円(前年同期比56.4%増)となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期(3月～8月)に比べ下半期(9月～2月)に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が562百万円、無形固定資産が107百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が949百万円、商品が253百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて769百万円増加し、8,910百万円となりました。

負債については、賞与引当金が92百万円、未払法人税等が78百万円、短期借入金が51百万円減少しましたが、流動負債その他が437百万円、電子記録債務が349百万円、買掛金が125百万円増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて664百万円増加し、3,398百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末と比べて104百万円増加し、5,512百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の66.4%から61.9%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期における通期の業績予想については、平成26年10月3日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
当該事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
当該事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
当該事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,106,541	1,544,207
受取手形及び売掛金	738,749	1,688,601
商品	585,402	838,434
貯蔵品	499	643
その他	243,269	198,073
貸倒引当金	△8,100	△7,806
流動資産合計	3,666,362	4,262,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,157,424	1,288,463
土地	1,182,014	1,182,014
その他(純額)	347,035	431,189
有形固定資産合計	2,686,475	2,901,668
無形固定資産		
投資その他の資産	505,399	398,017
投資その他の資産		
差入保証金	1,232,498	1,306,828
その他	52,194	43,926
貸倒引当金	△1,635	△1,697
投資その他の資産合計	1,283,057	1,349,056
固定資産合計	4,474,932	4,648,742
資産合計	8,141,294	8,910,896
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,391,019	1,516,108
電子記録債務	-	349,325
短期借入金	118,286	66,880
未払法人税等	171,730	93,611
賞与引当金	124,472	32,452
その他	568,359	1,005,562
流動負債合計	2,373,868	3,063,940
固定負債		
長期借入金	36,892	-
退職給付引当金	59,401	43,322
資産除去債務	130,623	154,263
その他	133,070	137,004
固定負債合計	359,987	334,590
負債合計	2,733,856	3,398,531

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	4,900,991	5,016,416
自己株式	△952	△1,000
株主資本合計	5,407,251	5,522,629
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	186	△10,264
その他の包括利益累計額合計	186	△10,264
純資産合計	5,407,438	5,512,364
負債純資産合計	8,141,294	8,910,896



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	11,521,140	12,271,130
売上原価	5,121,380	5,453,938
売上総利益	6,399,760	6,817,191
販売費及び一般管理費	6,020,134	6,250,234
営業利益	379,625	566,956
営業外収益		
受取利息	785	537
仕入割引	7,716	8,227
為替差益	9,736	2,687
受取手数料	5,895	8,749
その他	13,609	7,803
営業外収益合計	37,744	28,005
営業外費用		
支払利息	4,545	2,068
その他	2,229	381
営業外費用合計	6,774	2,449
経常利益	410,595	592,511
特別損失		
固定資産除却損	13,508	16,485
貸借契約解約損	1,096	-
減損損失	19,052	19,551
特別損失合計	33,657	36,036
税金等調整前四半期純利益	376,937	556,475
法人税、住民税及び事業税	105,915	161,276
法人税等調整額	66,558	75,411
法人税等合計	172,473	236,687
少数株主損益調整前四半期純利益	204,464	319,788
四半期純利益	204,464	319,788

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	204,464	319,788
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	25,315	△10,451
その他の包括利益合計	25,315	△10,451
四半期包括利益	229,779	309,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,779	309,336
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。